

1. 概観



2. 機能

- a. コマンド送受信
- b. 波形の転送／表示／ファイル格納
2種類の転送形式があります。
 - (a) BIN形式
 - (b) NR1形式
- c. 波形の転送／表示の繰返し試験
- d. AD値読出しの繰返し試験

3. 操作

3.1 コマンド送受信試験

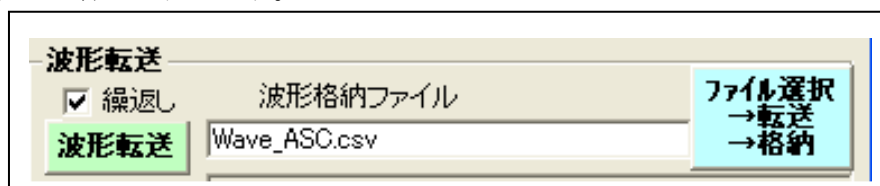
使用にある全部のリモートコマンドを個別に送受信します。

3.2 波形転送条件

波形転送開始アドレス、転送データ数、波形転送形式を設定します。

3.3 波形転送

波形転送を繰り返し行います。



□繰り返し : 波形転送を繰り返します。

波形転送 : 転送開始。

波形転送中に、記録／停止を行っても、続行します。

但し、一時、波形は乱れます。

また、記録の場合、0になってしまう場合があります。

ファイル選択転送格納 : ファイルを選択して、転送して、格納します。

3.4 VOLTS?の繰り返し

a. 右側の<VOLTS?>クリックで開始してください。

AD 読み出し値を約 1 秒間隔で表示します。

バックは交互に変化します。

プログレスバーも動きます。

<中止>まで、繰り返します。

b. <中止>クリックで中止します

4. 備考

a. 本ソフトを編集、実行するには WindowsXP(SP3)と Microsoft Visual Basic6.0 が
必要です。

b. RS ドライバソフトは、Microsoft mscomm.ocx を使用しています。

c. USB ドライバ

岩通計測(株)の HP からダウンロードして下さい。